

算は69億3550万円

一般会計

市長選挙控えて骨格予算

昭和五十四年度のまちづくり予算をお知らせします。今年度は、四月二十二日に市長選挙を控えての骨格予算となりました。予算規模は、一般会計四十九億八千四百万円、水道・国保・下水道の特別三会計十九億五千五百萬円で総額では、六十九億三千五百五十万円となりました。相変らずの厳しい財政状況の中、また骨格予算では

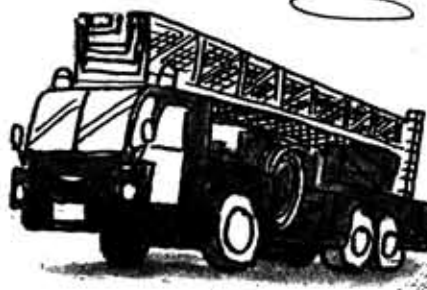
ありますが、住民サービスに重点を配分し、効率的な執行を徹底し、最少の経費で最大の効果をあげるよう考へています。ここで、一般会計の歳入歳入を見てみましょう。歳入は、市が行ういろいろな事業をまかなう財源をいいます。歳入の主なものは、市税、国・府支出金および市債です。市税は、二十七億七千七百二十二万円と財源の五十六%を占め、前年度の当初予算に比べ、三億四千三百

三十五万円、一四・一%の増となっております。五十四年度の税収も、景気回復基調にあると言われながら、四十八年の石油危機、さらには昨年の中頃からの急激な円高により、依然として大幅な増収は見込めず、市の台所は相変らず苦しい状況におかれそうです。しかし、市では可能な限り財源を確保して、明るく豊かなまちづくりのため、有効に活用していきます。



- ◇乙訓環境衛生組合負担金 1億円
- ◇菊花展・農産物品評会の開催 24万円
- ◇生産者組合・農業研究会などに補助 300万円
- ◇農業基盤の整備 1,820万円
- ◇向日市まつりを開催 200万円
- ◇商工連合会活動費・商工会館維持管理など 270万円
- ◇中小企業に振興資金を融資し 2,352万円
- ◇中小企業者の保証料を確保するため保証協会に出資 153万円
- ◇防火水そう新設・消防装備の強化(24メートル級はしご車の購入) 3億1,577万円

一般会計四十九億八千四百万円



◇市民憲章の推進・市民の広報・発行 1,572万円

まちづくりを

850万円	◇市史編さんに着手	785万円
99万円	◇(名称)の建設推進	
7万円	◇開設の研究	
1,160万円		
562万円		
45万円		
1,630万円		
190万円		
468万円		
221万円		
3,882万円		
767万円		
3,308万円		



- ◇道路の幅員改良整備 3,800万円
- ◇歩道新設など交通安全対策 1,600万円
- ◇側溝改修・舗装など 1,400万円
- ◇都市下水路・排水路の改修 4,450万円
- ◇都市公園・児童公園の改良整備 2,073万円
- ◇街路灯の増設・改修・維持管理 655万円
- ◇警報器設備自治会に補助 30万円
- ◇自治会振興とコミュニティ促進 1,160万円
- ◇葬儀簡素化を推進 90万円
- ◇ごみの分別収集・し尿収集体制の充実 3億5,294万円



市民1人あたり

()内は1世帯あたり

行政費は 99,172円 (333,847円)

市税負担は 55,160円 (185,687円)

人口 50,266人 世帯数 14,929 (S 54.4・1 推計人口)

2,555円 (8,601円)	236円 (795円)	18,005円 (53,878円)	25,356円 (85,356円)
4,373円 (14,721円)	80円 (268円)	1,751円 (5,895円)	4,804円 (16,173円)